

不二精機株式会社

2017年12月期

第2四半期 決算説明資料

おことわり

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

2017年12月期 第2四半期 実績



2017年度 第2四半期決算概要(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

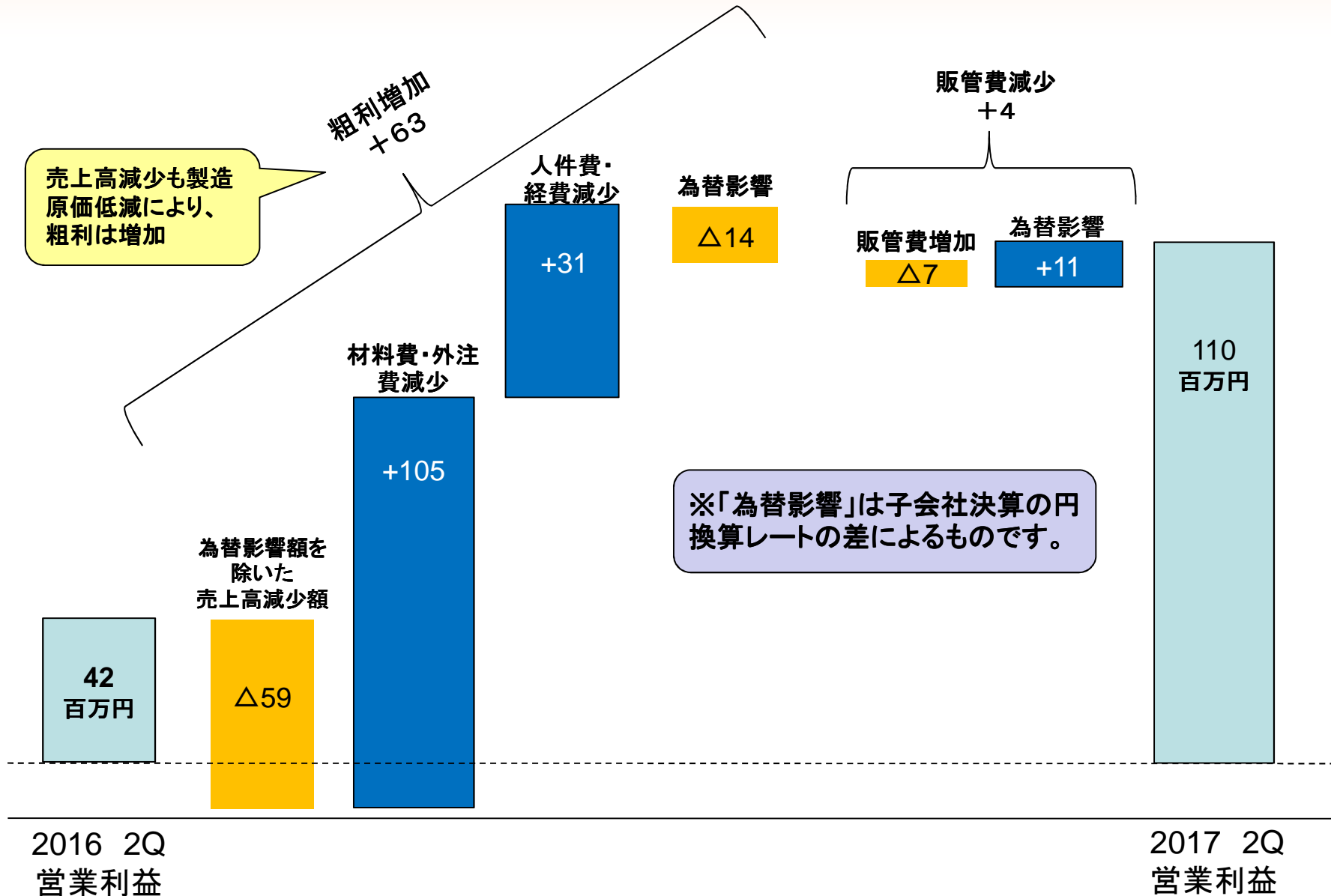
(百万円)	2016年 2Q	2017年 2Q	前年同期比 %		2Q業績 予想	2Q業績予想との 差異		対 通期業績 予想進捗率	通期業績 予想
売上高	2,561	2,429	△131	△5.2	2,580	△151	△5.9%	45.1%	5,391
営業利益	42	110	67	158.2	85	+25	29.4%	38.9%	283
営業利益%	1.7%	4.5%	—	+2.8P	3.3%	—	+1.2P	—	5.2%
経常利益	△14	96	111	—	25	+71	284.0%	58.2%	165
経常利益%	△0.6%	4.0%	—	+4.6P	1.0%	—	+3.0P	—	3.1%
純利益※	△28	96	124	—	22	+74	336.4%	57.8%	166

※「親会社株主に帰属する親会社株主に帰属する当期純利益」を簡略化して記載しております。

- ・売上高は、精密成形品事業は自動車関連部品を中心に予想を上回りましたが、精密金型事業で、検収時期(精密金型事業の売上は検収基準を採用)が下期へずれ込み予想を下回りました。
- ・営業利益は、製造経費の削減や製造設備の稼働率の向上により予想を上回り、さらに為替差益が発生し、経常利益・当期利益とも予想を上回りました。

2017年度 第2四半期 営業利益(連結) 増減要因分析

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

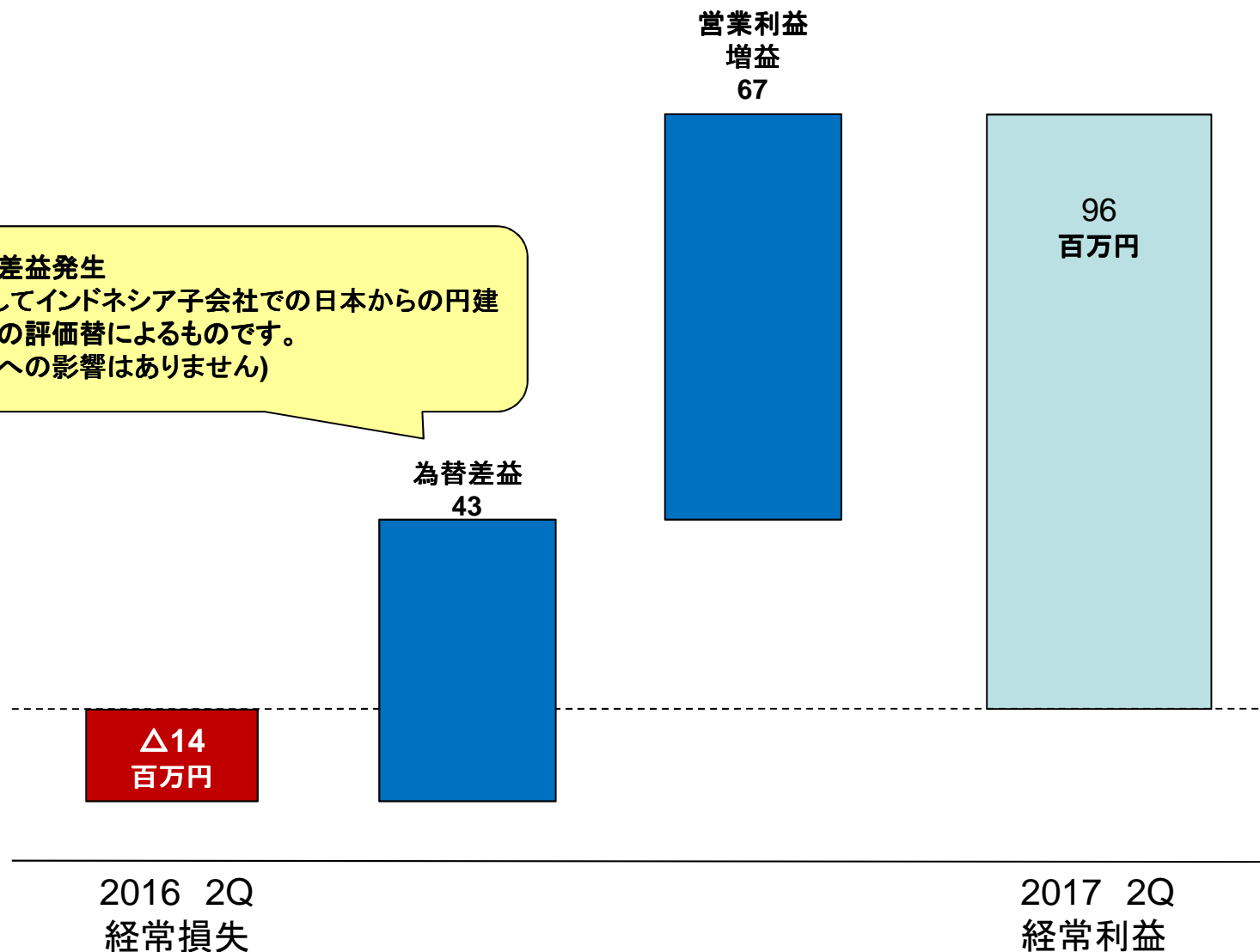


2017年度 第2四半期 経常利益(連結) 増減要因分析

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

★為替差益発生

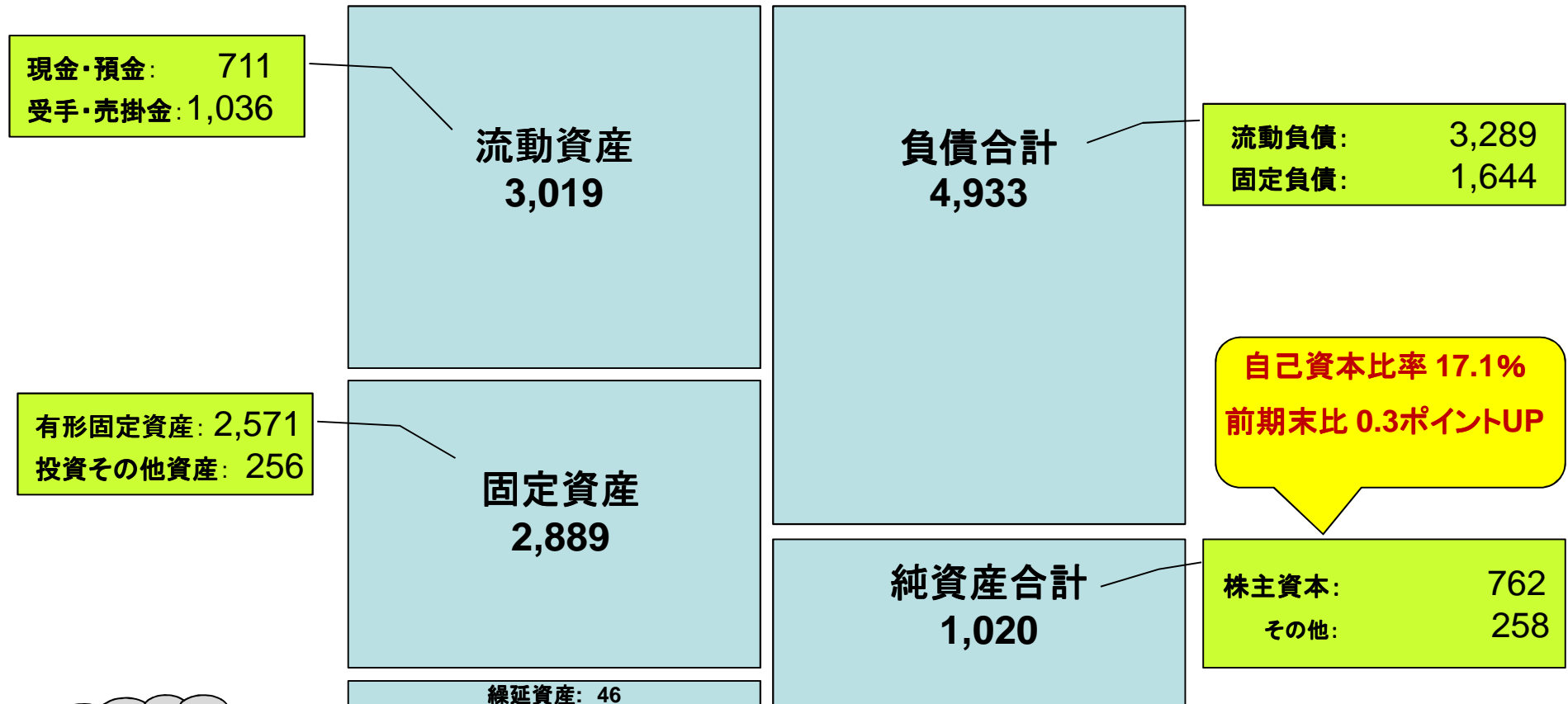
主としてインドネシア子会社での日本からの円建借入金の評価替によるものです。
(資金への影響はありません)



2017年第2四半期 連結貸借対照表の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

- 当第2四半期末の ROE(当期純利益÷平均純資産)は、10.2%
- 当第2四半期末の 一株当たり純資産は、134.4円



取組課題:

- ・有利子負債の削減を加速させ、金利負担の低減
- ・グループ内資金の効率化を徹底し、資金効率を高め流動資金圧縮

2017年度通期の見通し



業績予想の前提条件①

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

☆為替レートの影響について

当社はタイ、中国、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートに影響を受ける場合があります。

売上高、利益等については、各連結子会社の決算締日以前1年間の平均レートを元に2017年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2017年度第2四半期に発生した為替差益43百万円は上記の処理によるものです)

2017年2月14日公表の業績予想は、下表の各レートを元に円換算しておりますが、為替レートの影響を受け、業績予想と乖離する場合があります。

(円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
15.40	3.00	0.0080

業績予想の前提条件②

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

☆精密金型事業の受注状況について

当社グループで製造する精密金型の、受注～生産・売上計上(検収)に至るまでの期間は おおむね5か月程度であります。

従いまして、2017年12月期の下半期の売上高は、当上半期(第2四半期)における受注高に影響されます。

なお、現受注残高に対する生産状況は順調に推移しておりますが、顧客側での検収時期(精密金型事業の売上は検収基準を採用しております)のずれにより、売上高が変動する場合があります。

当第2四半期	受注高(百万円)	受注予想(百万円)	受注残高(百万円)
精密金型 セグメント	1,053	980	915

前期末比
273百万円増加

ご参考

2016/12月期 (通期)	受注高(百万円)	前年同期比	受注残高(百万円)	前年同期比
精密金型 セグメント	1,670	72.0%	642	71.9%

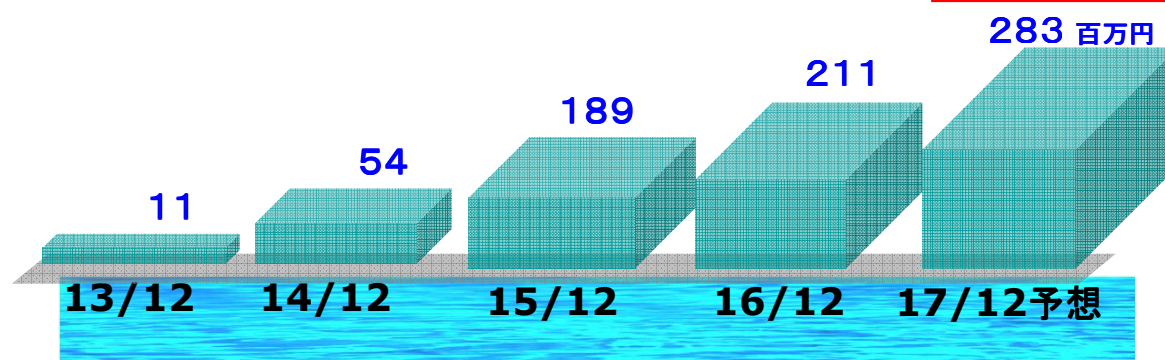
17/12月期通期計画(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(百万円)	16/12月期実績		17/12月期計画		増減額	増減率%
売上高	5,108	売上高比 (%)	5,391	売上高比 (%)	283	5.5
売上総利益	1,114	21.8	1,139	21.1	25	2.2
販管費	903	17.7	856	15.9	▲47	▲5.2
営業利益	211	4.1	283	5.2	72	34.1
経常利益	55	1.1	165	3.1	110	200.0
当期純利益	39	0.8	166	3.1	127	325.6
設備投資	291	5.7	260	4.8	▲31	▲10.7
減価償却費	288	5.6	315	5.8	27	9.4

営業利益の推移



営業利益率
目標 5.2%

【営業利益計画のポイント】

- ◆インドネシア営業利益拡大
- ◆コスト構造の改革

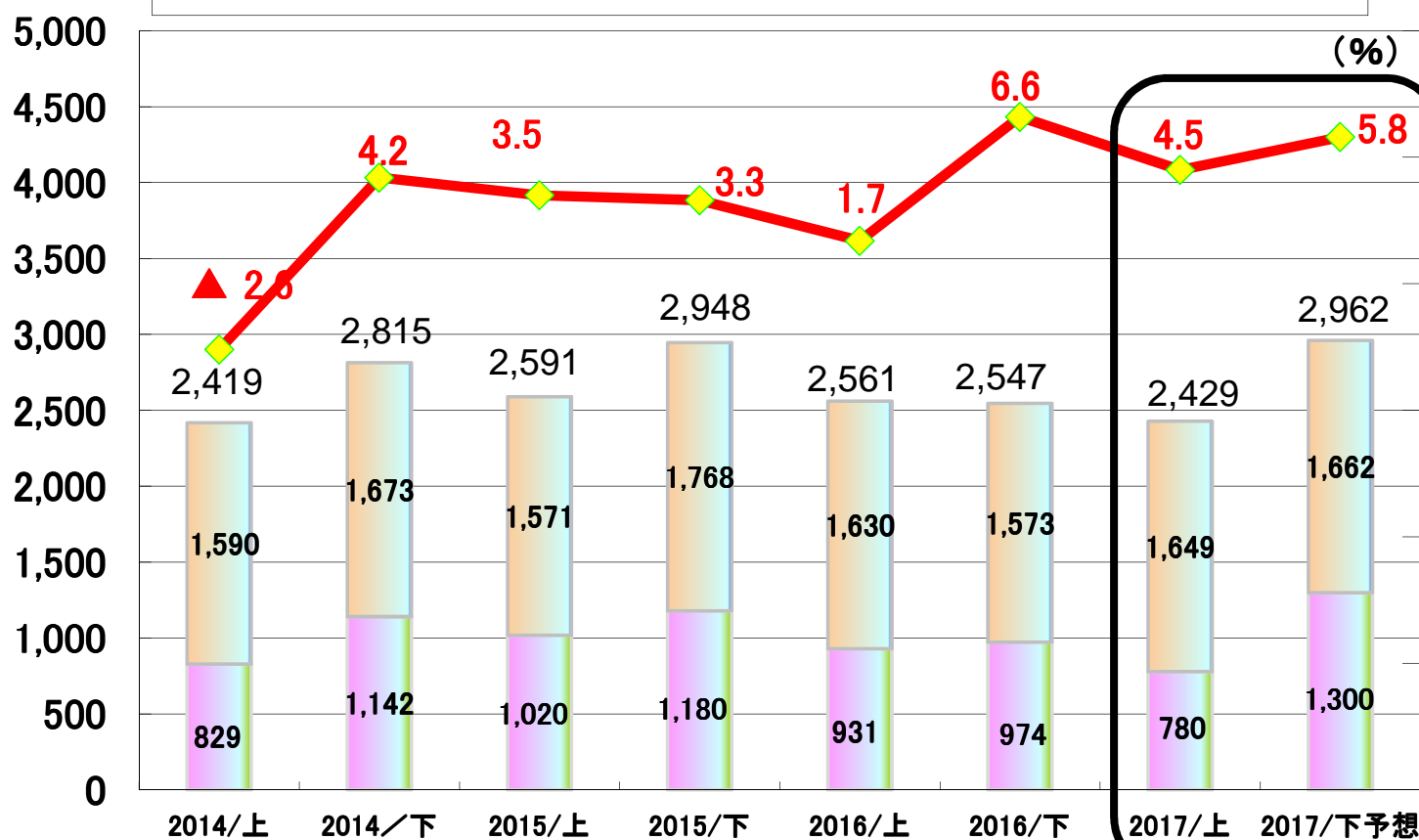
- ①内製化 → 外注費削減
- ②自動化 → 人件費抑制

営業利益計画達成へ

半期毎の業績推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)



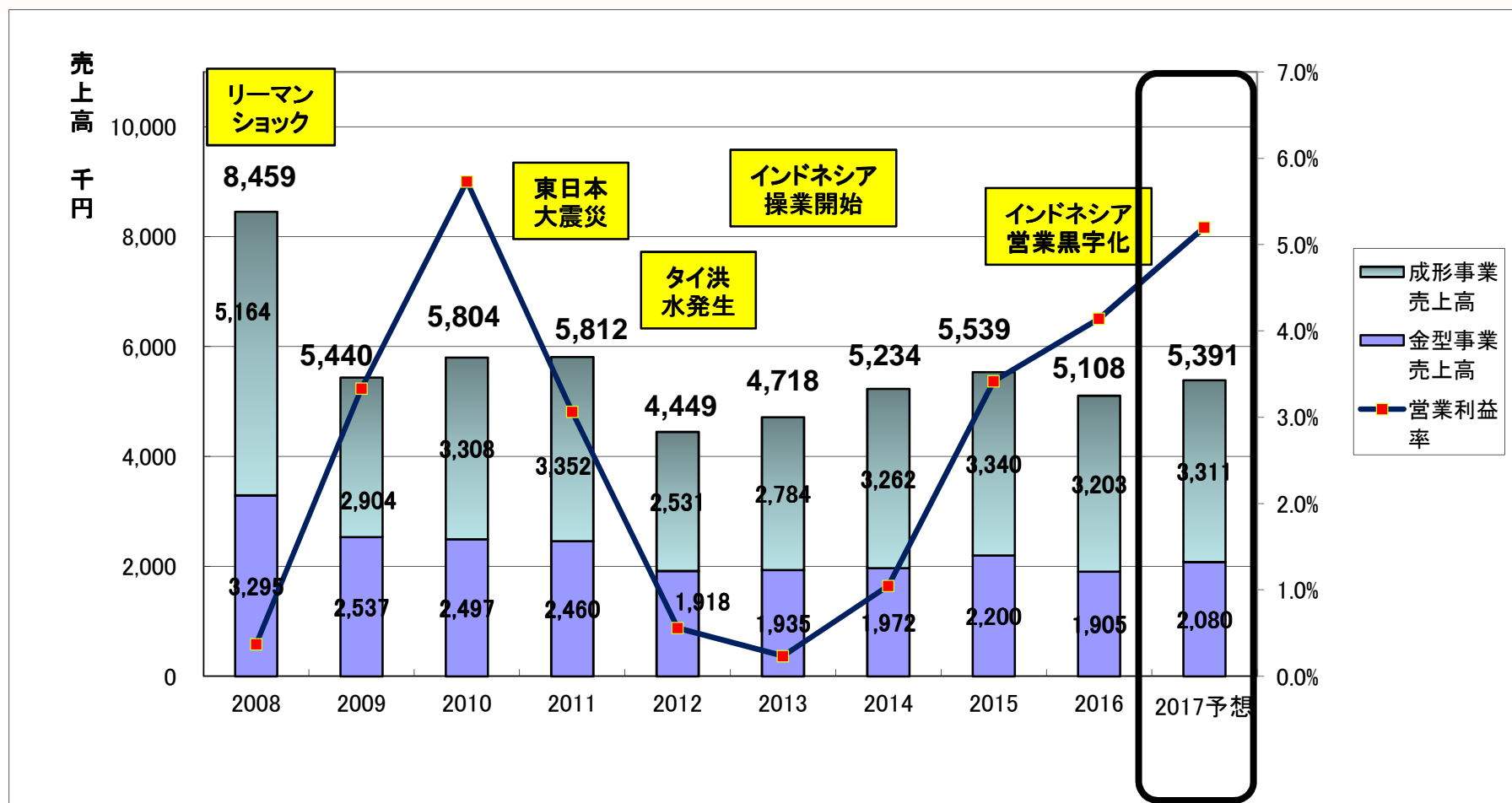
・2014年に操業開始したフジセイキインドネシアは、2016年12月期より営業黒字化を達成し、さらに黒字を拡大へ

・2017年上期に受注した精密金型の検収を、下期に着実に売上につなげることで、営業利益の拡大に貢献

※下期に売上高が増加する傾向があります。

連結業績推移

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



・2015年12月期より、成形事業は2輪4輪部品が収益の柱となり、営業黒字が拡大し始め、さらに2016年よりフジセイキインドネシアの営業黒字化も達成し、連結での営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換

☆2017年12月期は、通期で営業利益率5.2%超を目指します。

配当政策および配当額

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

2017年度

2016年度

(単位:円)	予 想	実 績
中間期	0.00	0.00
期 末	3.00	3.00
年 間	3.00	3.00

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2016年12月期において、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を達成し、グループ全体の業績が今後安定化する方向でありますので、2017年12月期においても期末配当金を1株あたり3円と予想しております。

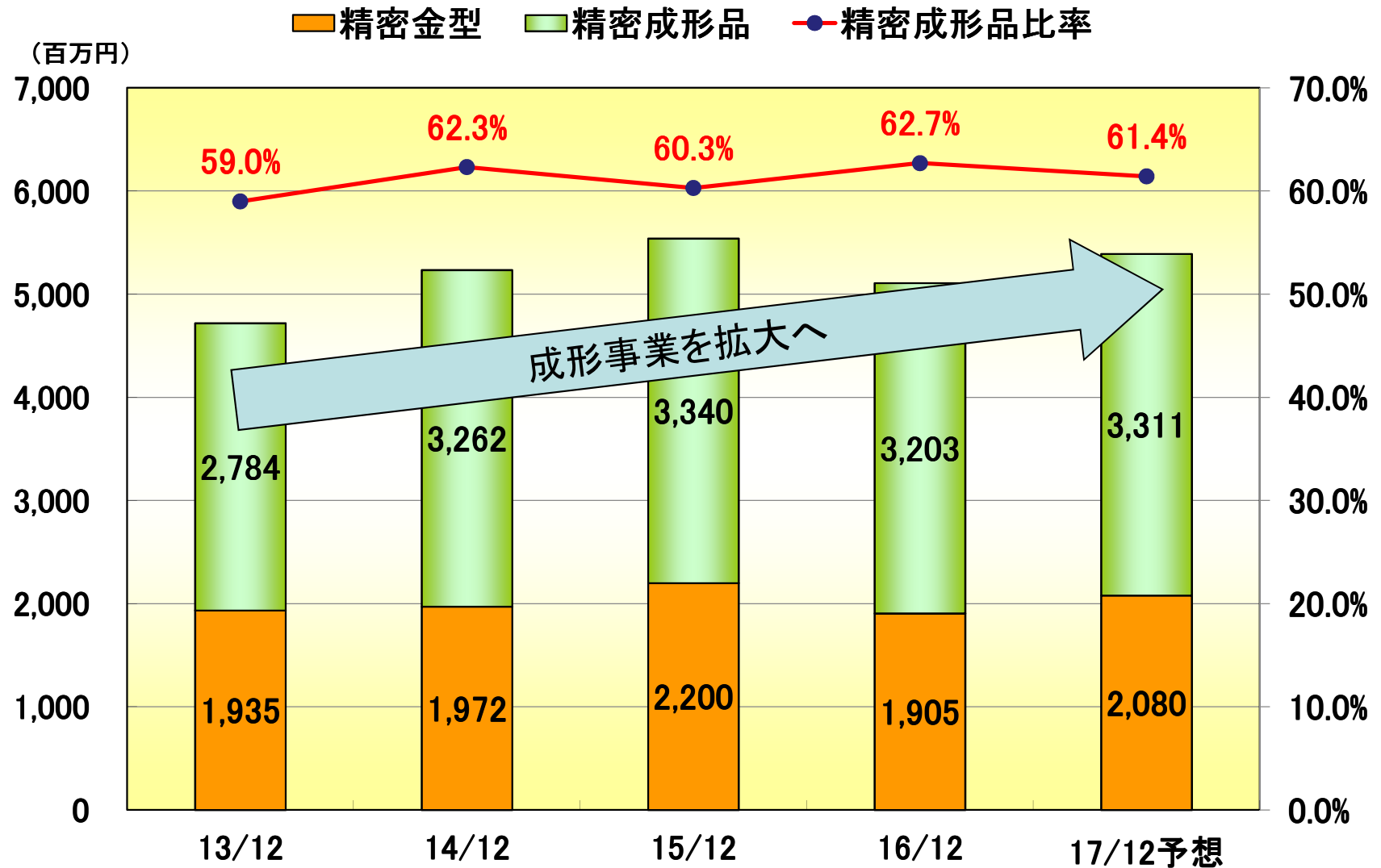
ご参考

＜事業別・製品分野別・地域別営業戦略＞



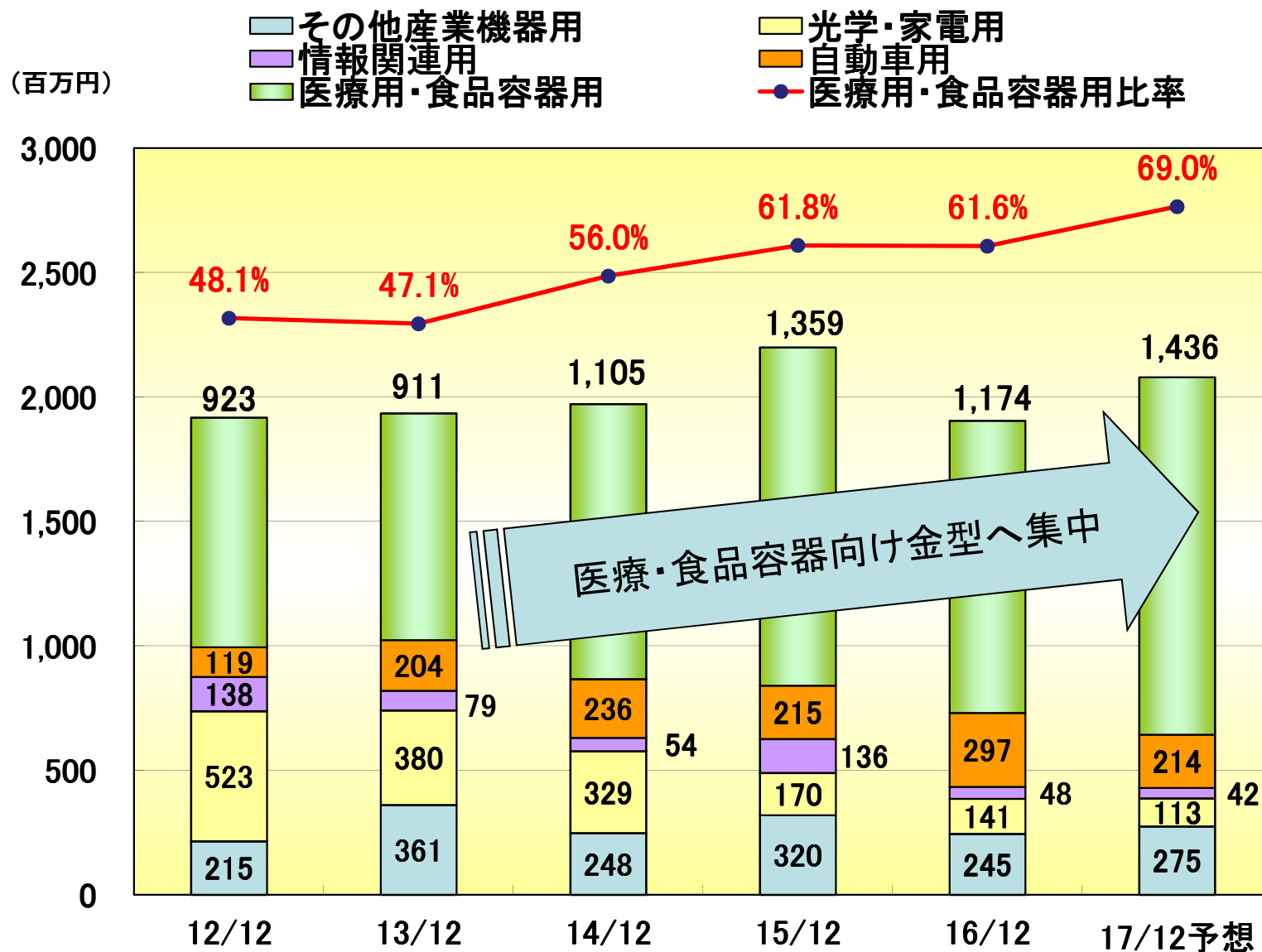
セグメント別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



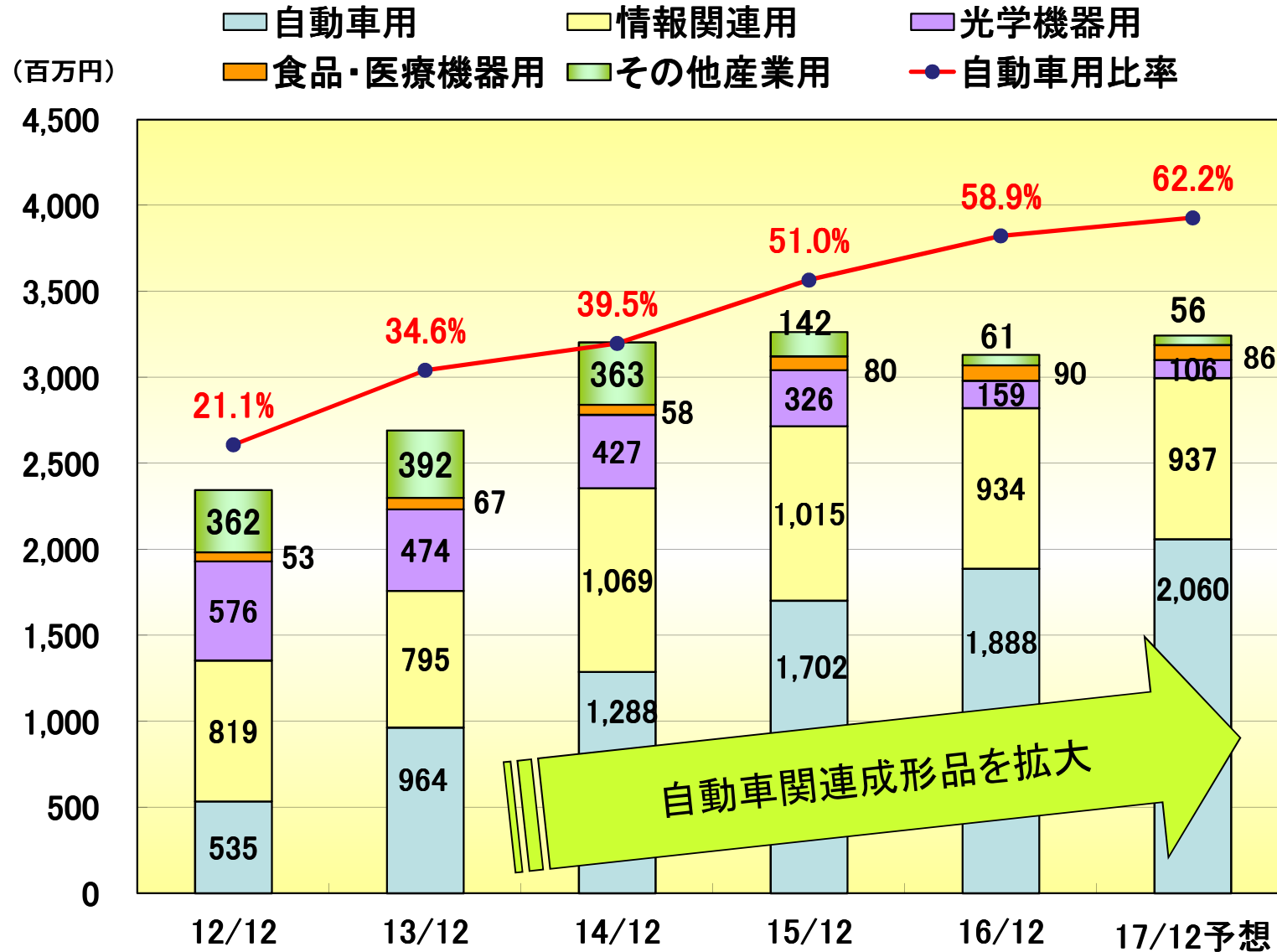
精密金型事業/分野別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



精密成形品事業 / 分野別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



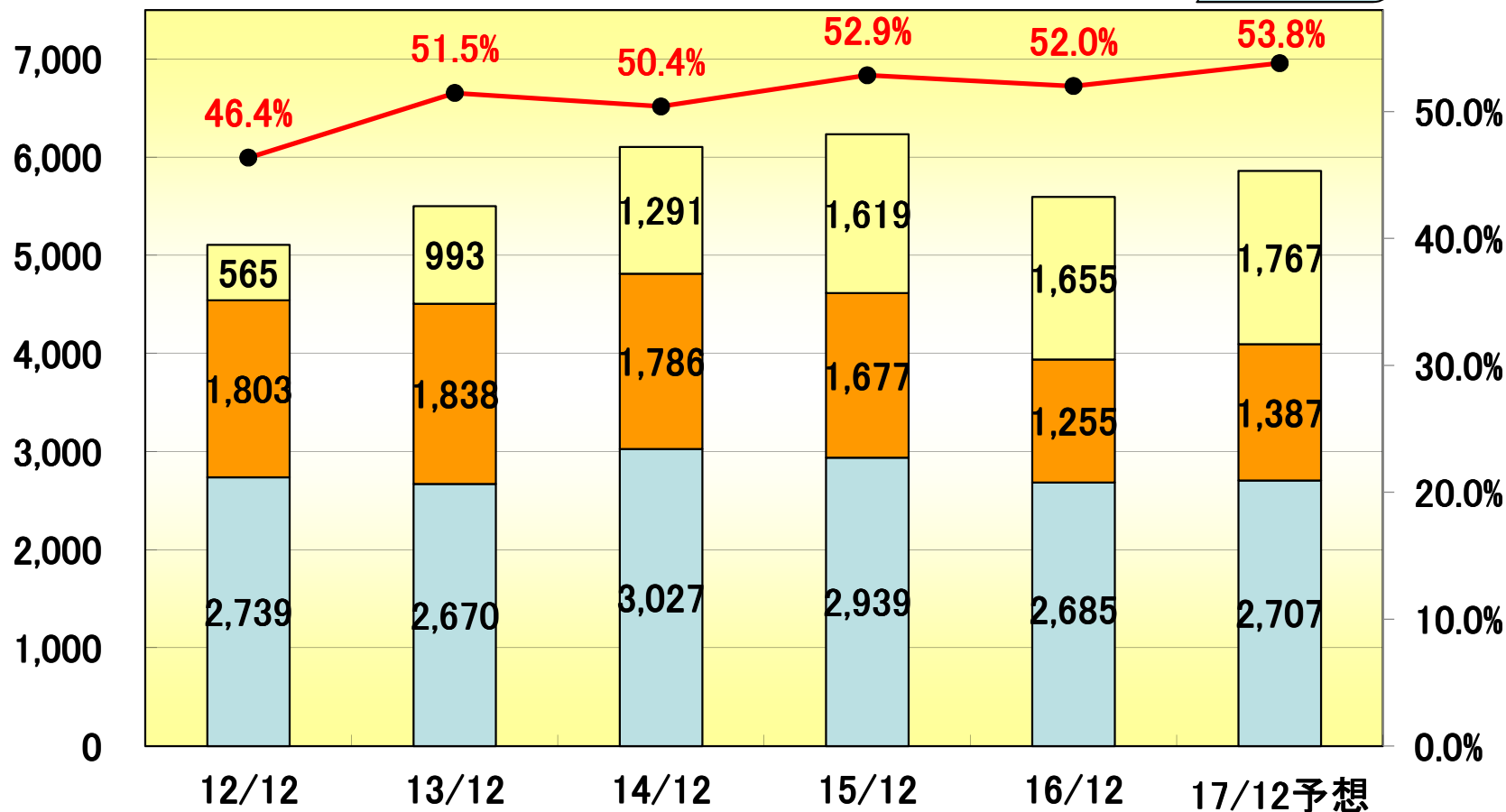
地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

日本 中国 タイ・インドネシア 海外売上比率

東南アジア
市場を拡大

(百万円)



(グループ内売上含む)